

部家

# 新人合宿報告書

78' 5/28 ~ 6/4

(涸沢園辺 + 槍, 横尾B.C.)



信州大学山岳会 (S.A.C)

## 新人合宿を終えて

Chief Leader  
下田 章

新人合宿が終って、早1ヶ月もう下界は夏の葎いと梅雨のうとうしの中、夏山の山行の計画が練られていく頃。

合宿は天候の不順さもあつたが、行動のない日かなが、た事が、幸かしてか、一応目的を満足することができたと思う。各人色々な反省を持ち感想を持ったと思うが、この合宿で得た経験を生かすのは君達のこれからの行動である。新人にとっては、まだまだ知ってもらふものは沢山ある。楽しみも素晴らしいものがあるだろう。また二年生にとっては、人を指導していくことはこれからである。自分でできる範囲のことを精一杯やることをこころがけてほしい。三年生以上に言うにしても各人が常に新鮮に山に登ってほしい。同じ山登りはないのであるから。上級生不足とか 部長部不足とかいっている折だが、比較してもはじまらない。これで夏山 冬山とかがんばろうじゃないか。

“山ほどその肌色もよく複雑多様にかえるものはない。た。た光と影と風と空気。四つの染色素しか持っていないにせよ”

—大島亮吉—

# 新人各宿参加者と役割

(氏名, 役, 血型, 学部, 学年, 部, 現住所, 帰省先)

寮主者名

下田 章(善吉) C.L.(B) 豊-林工 4-TV

伊那市郊外 信大中原寮 tel 02657(8)4421

茨城県日立市西成沢町1-26-1 tel 0294(22)1500

中嶋 岳志(真二) S.L.(A) 教-中数 4-TV

長野市箱清水 2200 城山マ-7-1

豊科町豊科 1149 tel 02637-3-4943

片山 博彦(知夫) S.L.(A) 農-林 4-TV

伊那市大宮伊那 3771 川北荘6号

神都市東轄区湯森台 4-25

tel 078-841-7500

瀬戸 由則(信義) S.L.(O) 工-精密 4-TV

長野市若里荒本214-3 紫野荘

奈良県橿原市川面町82川西団地39-2

tel 07442-7-7027

田中 誠司(藤木栄子) ESSEN (AB) 農-林 3-III

伊那市郊外 中原寮

京都市下京区油小路五条下ル中金仏町212

tel 075-361-4975

加藤 喜章(照) ESSEN (A) 農-化 2-II

伊那市上荒井区17組若葉荘  
tel 02657-2-4245

愛知県岡崎市明大寺町出口12-036  
tel. 0564-21-7453

竹内 稔実(正寿) 装備 (b) 工-電子 3-II

長野市若里信大若里寮 tel 0262-28-6930

東京都日野市東平山2-8-8 tel 0425(83)074

山本 雅大(功) 装備 (A) 理-化 1-II

松本市泉信大思誠寮 tel 0263-35-3963

福岡県田川郡大任町織永

tel 09476-3-2517

島谷 壽(昌幸) 会計渉外 (A) 農-林 1-II

松本市横田121 みたす荘

tel 0263-32-4872

長崎市若草町18-71 tel 0958-44-8420

山田 弘二(三子) 気象 (A) 織-化工 2-II

上田市踏入2-3-9 tel 0268-22-637

新潟県新発田市大分1-7-2 tel

02542-2-321

内川 健 (喜八郎) 記録 (AB) 1-II 農-林

松本市大字大村 358 (中野)

tel 0263-46-1377

東京都大田区東嶺町 12-29

tel 03-751-4852

吉野 敏昭 (昭三) 記録 (B) 2-II I-電子

長野市若里荒木 214-3 紫野荘

山形県 米沢市城北 1-7-3

tel 0238-23-9588

(New Face) [役割は存L]

井上 泰朗 (秋雄) (O) 匠 1-I

松本市女鳥羽 2-2-2 (205号)

TEL. 0263 (35) 4600

大阪府枚方市皇ヶ丘 2-22-16

TEL. 0720 (40) 5018

石渡 健司 (輝男) (O) 理-物 1-I

松本市泉 2-8-3 (能合)

tel 33-9235

杉並区荻窪 2-40-18-5

tel 392-5605

小田 利昭 (稔) (O) 経 1-I

松本市旭 2-11-3

tel 32-8621

兵庫県印南郡志方町大沢 875

tel 07945-2-1591

加藤 恒夫(義則) (B) 農-園 1-I 松本市 蟻山崎 信大ニオクテ寮  
tel 35-8966  
群馬県利根郡昭和村系井2328-1  
tel 0278-2-4730

川原修(薫) (A) 農-畜 1-I 松本市 横田121 tel 32-4872  
香川県高松市仙生山町1487-1 tel 0878-8721

竹中 茂生(章) (A) 経 1-I 松本市 女鳥羽1-4-10(小IR) tel 34-1995  
大阪府茨木市美沢町7-4-902  
tel 0726-32-6853

豊泉 時男(三郎) (B) 農-畜 1-I 松本市 大字大村335-10 tel 46-1871  
東京都王子市石町47 tel 0426-23-

中村 康信(信二) (AB) 理-数 1-I 松本市 墨山 下金井1320  
京都府淡路市大字寺田11字中大小1411

葛地 宏(晴見) (O) 教-中理 1-I 松本市 横田121 tel 32-4872  
目黒区上目黒3-39-9 tel 719-1961

森山 篤志(隆) (A) 教-中理 1-I 松本市 信大ニオクテ寮 tel 35-8  
大分県日田市中央1-4-6  
tel 09732-2-5344

吉岡 道泰(和夫) (A) 工-機 松本市 横田121 tel 32-4872  
目黒区大橋2-16-24  
tel 03-466-5371

付役)

岡本真一(伊一) (B) 農-園 4-V

伊那市西箕輪6710(守谷)

TEL 02657-8-1309

神戸市長田区高取山町103-2

TEL 078-611-5925

山本章(寿恵子) (A) 教-小社 4-V

長野市旭町31 桔梗屋

佐賀市末広22-13 TEL 09522-3-7488

B)

中田茂 名古屋市千種区今池町1-67 田島荘 25号室

藤松友一 山形県郡真田町管平東組教員荘  
〒386-22

西川義満 奈良県北葛城郡上牧町1172

★合宿の行なわれた場所

○横尾 ベース・キャンプ 設営

酒沢周辺 (4峰, 奥ホ, 前ホ, 北ホ etc.)

及び

槍ヶ岳

★合宿の行なわれた日

1978年 5月28日から 6月4日



5/28 ②→①

A party L竹内、肉川、山本、  
加藤、森山、中村

4:00 起床  
5:00 大巻  
5:50 島反出后 肩痛、腰痛  
6:40 タム付近  
50  
7:45 一ノ沢出后手前 他のpartyを引離し  
55 独走体制に入る。  
9:00 岩魚留小屋手前  
15  
10:10 徳本峠へ 2.8km 疲れが出始める。  
30  
11:15 ≡ 1.8km ニニあり急登  
35  
13:05 徳本峠 思ったより早く着く。  
5 日段を併走する。  
15:40  
16:20 白沢出合付近 装備不足で仕事がない  
T.S

### 【感想】

歩き始めは少し疲れたが腰と肩痛に悩む。しばらくして慣れたが、又才ニ波に悩む。岩魚留までは比較的楽だったが、それ以後足が重くなり、異常な肩痛に悩み日沢に至る。

A party は快調に飛出し、他 party にかかり差を付けた。徳本で何時来るかと待っていたが、知る間に2時間半たったが、余り疲れはとれなかった。降りかかるともつらかった。肩が痛く、ひざが非常に痛かった。

徳本からの穂高と笹の原との二番に尽きる一日だった。  
(加藤記)

B party ① L 田中、中山島、山田、藤地、豊水、石渡

4:00 起床

5:00 大朝

6:00 島々出后 峠越え一番E目I目。

(6:50) タム付近 80kgは重い物、手はずに。

(7:00) 南沢に加入

(7:50) E目所 1/2手始め、Topに離れたいところ。

(8:00) 岩魚留小屋 足が出なくなる。



数ひきり生き体升  
死んでわかるが、タム。

小南沢の先  
12:05



同士、最後のつかる登り足と豆腹と  
が分離し、ほうほうに登る。

徳本峠小屋

11:00 着

1:00 登

1/2 1/2 かつま。

明月神岳に感動。

E沢天場

12:15

降りか、つるいとほ思ひなつた。

[感想]

E沢、たつたつるかつた。非常に。

山頂の足の裏には、引越には敬服。

山は日頃の訓練が功を成したと思つた。毎年の  
海が強いとわかつた。

仲間と建感と掛付悪かつた。

つるかつたため記録もつるかつた。

(石渡、記)

8 ①→①

Party Member L 三頼戸、山本、加藤 喜  
吉岡、小田、川原

00 起床

00 下学

00 島々台出后

15:35 徳本山峠着

040

庄三沢分枝 入人提

ジュース・パン

050

1本

その見えるところ。

やつと着いた

055

040

1本

島々台南三沢下の方

16:00

050

16:55

天場着、

神

050

メシ

055

065

065

070

1本

岩魚留小屋

070

070

075

1本

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

075

感想] 始めから終わりまで実につまるなかつた。  
(くたかした。)

やっぱり僕は海がいろいろある

ていかくてさ。(吉岡道泰記)

Party ① Member L 片山、吉野、島谷  
大尊 5:00 井上 9:00

島 6:00

岩魚留屋 10:00

徳本寺 4:40 (着)

5:00 (発)

明神

テトサト 6:00

### 本日の感想

みなさん、大変御迷惑をおかけしました。  
僕の体力と気力 欠けた面がみゆかにも露呈しました。  
ですから記録、圧の様に大分お母さんに頼って  
しました。1.にしろ体中の息をとるときはわたする  
やすむことしかたえが 時計をみて記録するよりも  
もありました。

今、一日を振り返ると、ハジテシと至に  
諸先輩のあしせられた ハジテシや怒声も  
愛のこころと思つて また明日かきかへしたい  
思ふところ。でも、足の又々がイタ・イタ。

5月29日 (月) 晴れ

Aパーティ メンバー：竹之内(L), 内川, 加藤(作), 森山, 中村  
山本さん

記録：森山 篤志

3:45	(エッセン当番) 起床
5:05	朝食
5:30	パッキング開始
6:15	幕営地出発
7:05	休憩 [徳沢園]
7:35	休憩
7:58	休憩 [前穂方面の足はらしの。い所]
8:45	休憩
9:40	横尾の幕営地着 (ベースキャンプ)

昨日はエッセン当番でぬるのが少し遅れ、又今日も早起きだったので、きつかった。

自分の靴ずれがひどくなったので内川さんが少しゆっくり行ってくれて助かったが最後の河原の上は砂だらけで歩きにくく、かかとが痛んだ。距離が短かったが昨日の疲れが残っていて肩や腰や足やみんな痛くて休憩が長いのが本当に辛かった。

Bパーティ メンバー：田中(L), 中場, 山田, 石井渡, 菊地  
豊泉

記録：石井渡

5:00	起床
5:25	足洗合 出発
6:35	徳沢園 着 (1ピッチ)
6:52	休憩
7:35	前 着 (2ピッチ)
8:05	休憩
10:20	横尾B.C.着

今日何より楽だった。ヤ、ぱりつらかった。昨日から  
 余裕がないと思つて非常——に気が楽になった。/又とはな  
 かなかきくものだ!!

Cパーティ メンバー：瀬戸(L), 如蔵, 山本, 志園, 小田

川原

記録：川原 修

5:00 起床 朝×シ(ヤキツバ)  
 6:15 明神テント場 発  
 7:05 徳沢園 休み まるで運動場みたいだ。  
 7:30 // 発  
 7:50 長浜沢谷 休み  
 8:50 // 発  
 9:20 横尾山荘前通過  
 9:40 横尾テント場着

最初からえらくトバシたのでついて行くのがつらかった。  
 短くてよかった。もうこれ以上30kg背おゆなくてもい  
 いのかと思つとうれしなきしそう。

Dパーティ メンバー：片山(L), 吉野, 島谷, 井上, 竹中

記録：竹中 茂生

6:20 明神 発  
 7:20 徳沢 発  
 7:40 徳沢 発  
 8:10 徳沢・横尾 着  
 8:45 中点 発  
 9:55 横尾 着

昨日の疲れが残っているせいか、歩き出しから何となく  
 しんどい、こしがいたい、肩がいたい。もうすぐだ、すぐ  
 だ、と言われながらなかなか着かないのにはマイッタ。  
 昼からはずっと楽でよかった。

5月30日 山行報告 天候 雨の晴

○Aパーティ

Xナンバー ① 下之内 中川 山出 志渡  
竹中 吉岡

行 横尾BC. 3:50 発

動 横尾本谷) ② 流下 5:05 着  
イ 池沢 5:15 発

△ 池下ヒコツ 6:05 着  
6:35 発

横尾BC. 7:45 着

行 朝から雨が降っていたので、  
動 池沢まで上るには上ったが、雨  
一 がやみ交うにたりの雪上訓練  
練は中止した。(A, B, C パーティ)

○Bパーティ

Xナンバー ① 田中 加藤 吉野 井上  
川原 南地 小田 中山

行 横尾BC. 4:00 発

動 横尾本谷) ② 流下 5:00 着  
イ 池沢

△ 池下ヒコツ 6:00 着

横

横尾BC. 8:10着

OCIP-71.

X-11-② 片山山本. 倫谷. 中村  
加藤. 豊泉 瀬戸

行  
動  
タイ  
込  
横尾BC. 4:00着  
横尾本谷)合流点 5:00着  
毛沢  
細沢C=7 6:10着  
横尾BC 8:10着



31 曇のち晴 風強し

10-テ  
MEMBER 田中(L) 山本 山田 石塚 菊地  
加藤 森山 瀬戸 下田

3:30 起床

4:15 発

5:10 1本

5:55 酒沢ヒュッテ着

10:30 ↓ 雪上言川系東

10:58 ↓ メシ  
発

11:45 ↓ 白出いの川途中の1本

11:53

12:45 新高尾山荘着

13:00

13:35 酒沢ヒュッテ

14:30 ベースキャンプ

B 10-テ (水)

3:30 起床

4:15 出発

5:10 1本

5:50 酒沢ヒュッテ

雪上言川系東

8:00 休けい

~~9:45 休けい~~

菊地記

9:45 休けい

11:00 白虫のユルへ出発

11:50 休けい

12:40, 13:00 白虫のユル着

14:30 天場

セミナー

メンバー 竹え内(シ) 加藤(2年) 吉野  
井上, 竹中, 中村 片山

(感想)

今日は逢末まけにみる やや良き日でした。  
というのはシ固ラネヒューテまでみんな  
に遅れずについてゆけたし白虫の  
ユルへもなんとか(あんまり)みんなに  
遅れずについてゆけたからです。

……でも他の日はみんなからたいく  
遅れてしまった。

先輩トは怒鳴られるし……

井上遅れるな !! ついてゆけ !!

夢の中でごも でてきそイウ……。

記録: 井上泰郎

31日

曇のち晴 風強し

パーティ

中島(1) 内川 島谷 川原 豊泉 小田  
吉田 山本正

3:30 起床

4:20 出勤

5:10 1本

5:55 涸沢ヒコッテ

7:50 1本

10:30 1本

12:40 自由の山

13:00 発

14:30 天場

くつがニわか  
山本(2年) 加藤 中村 吉田  
バス入下

6:50 発

7:40 バスキャンプ

8:15 発

10:10 涸沢

13:30 雪上訓練  
発

14:30 バスキャンプ

[感想] まさかと思ったがくつがニわめた。  
明日からどうなるのでしょうか。(吉岡記)

# 6月1日(木) 行動記録

A 110-74-

Me. ① 竹内 山崎 田中 小田 加藤 山本

4:10 概観 B.C. 発表

5:00

5:50 酒席 (中村)

B 110-74-

Me. ① 竹内 山崎 田中 小田 加藤 山本

3:30 概観 (山崎)

4:10 概観 山崎

5:10 酒席 (中村)

5:55 酒席 (中村)

山崎 田中 小田 加藤 山本

C 110-74-

Me. ① 竹内 山崎 田中 小田 加藤 山本

4:15 B.C. 発表

5:06 一休

5:55 酒席 (中村)

## 雪上訓練

A 110-74-

Me. ① 下田 田中 山崎 田中 小田 加藤 山本

6:15 雪上訓練開始

7:30 一休 SIMA (領食)

8:30 酒席 (中村)

B 110-74-

Me. ① 下田 田中 山崎 田中 小田 加藤 山本

6:15

8:00 雪上訓練開始 (中村)

8:30 酒席 (中村)

# 北越登山

- 10:30 湯原院、此處の宿下
- 11:00 1本 加部 1分 天候17度
- 11:00 北越山脈 やま、やまが全部 写真で見た山が全部見える。Oh, wonderful!!  
X2. (3200 (17度) 1100 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)
- 11:30 山頂 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)
- 12:30 下山
- 13:40 登山初歩 Part II 2巻2 湯原院まで11V (17度) 1700 (17度)
- 14:30 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)
- 15:40 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)
- 17:00 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)
- 19:00 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

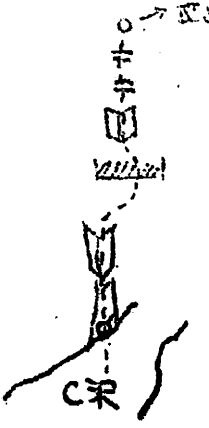
C登山 北越山脈 湯原院 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

- ・ 湯原院 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)
- ・ 北越山脈 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

北越山脈 湯原院 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

北越山脈 湯原院 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

## 北越山脈



5m	山頂	1700 (17度)
10m	山頂	1700 (17度)
15m	山頂	1700 (17度)
20m	山頂	1700 (17度)
25m	山頂	1700 (17度)
30m	山頂	1700 (17度)

湯原院 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

北越山脈 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度) 1700 (17度)

6月2日(金) 晴

Aパーティ、Xンパー：竹内(山)、山本、山田、井上、菊地、  
加藤、小田、片山、山本。

2:30 起床(ロッソ着)  
 4:05 テン場出発  
 4:55 沼沢 瀬川谷(カ) 坂付山着  
 5:05 沼沢着  
 5:50 沼沢着  
~~9:45~~  
 \* 雪上訓練 (29.カットをす)  
 9:00  
 9:45 沼沢着  
 10:40 雪渓途中着 (1本)  
 10:50 沼沢着  
 11:45 前穂北尾根四峰着  
 12:15 沼沢着  
 12:55 沼沢着  
 13:10 沼沢着  
 14:15 テン場着

(感想) 今日も非常によく晴れてきたも沼沢へ行く。  
 非常につらい雪上訓練今日で10日か11日かと思いついておいたが  
 訓練のときはやはりとてもつらかった。29.カットが楽しかった。  
 雪上訓練後の4ヶ所から北尾根四峰山へ行った。3ヶ所の  
 コルへの雪渓は急であるが北穂山と急峻感がなかった。で  
 急峻感はあるほどでもなかった。山のクライゼドは100%非  
 常に感じられたが怖い山ではなかった。(山頂から山頂は印象的だった)  
 顔と口唇がヒリヒリする。 (記録) 加藤

6月2日 Bパーティー. Xメンバー: 田中(山) 加藤 志野 石渡 竹中  
中村 川原 中嶋 岡本 西川

3:20 起床 Xシ(マカロニボート) ← かりとうま!!

4:10 テニ場(港)

5:00 1本

5:45 温泉

↓ 温泉訓練: 3日もやればいいか? かしら。今日はあつた。嬉しいわー。

8:00 1本 Xシ

↓ 温泉訓練(スタート)

9:00 1本

9:45 温泉

10:40 1本

11:45 伊豆山頂着: 又。松た。東麓が目か来た。奥まで。ほと、でもいいわー。

12:30 温泉(湯)

13:15 テニ場(湯): 40分くらい下。下。11時半くらい。女の人の横を通。テニ場にはないたおかし。おかしー。

[感想] とにか終了。後はやりたけ、やりたけ、やりたわいなー。  
[記録] 川原

6月2日 Cパーティー. Xメンバー: 下田(山) 内川 島谷 森山 安泉  
吉岡 瀬戸

2:30 起床

4:10 テニ場(港)

4:50 1本

5:35 温泉

7:00 温泉(湯) 温泉訓練

9:00 1本

9:45 温泉

10:40 1本

11:45 伊豆山頂着

13:20 温泉

13:50 温泉(湯)

14:00 テニ場(湯)

[感想] 温泉訓練かうまくできませぬ  
今日は途中で熱かこわれた。  
明日は又なうた。しょうが。明日はやりて。今日は遠いなー。  
あ、早く帰りたいし。昨日の会はここであいのちを食べて、温泉でねおたかひのめぐりしたい。さう。  
[記録] 吉岡

[ ] 竹内, 瀬戸, 岡本, 豊泉, 森山, 中村  
竹中, 小田, 菊地

A party

槍沢 → 槍ヶ岳

6月3日

風弱く晴時々雲

- 4:10 横尾B.C. 出発
- 5:10 一の俣で 一休
- 6:10 赤沢岩小屋で 一休
- 7:45 スムッシュの上で 一休
- 9:10 槍の肩至着
- 10:00 Bparty が近づいてから槍頂上へ
- 11:30 槍の肩から下山
- 12:30 赤沢岩小屋で 一休
- 3:30 山菜取りをして横尾B.C. 至着

[感想]

横尾B.C. から槍ヶ岳まで5時間という急ピッチで  
特に第三ピッチはつらかったが槍頂上からの状大  
なながめはすばらしかった。帰りは山菜取りで  
みさしぶりにのんびりムードを味わえた。

記録: 中村康信



山 片山, 山田, 川原, 石井, 井上, 加藤, 吉岡

B party

6月3日

槍火 → 槍ヶ岳

晴時々雲

4:10 横尾B.C. 出発

5:15 一休 一の俣小屋 絶風景

6:30 一休 赤沢岩小屋 カズト岩デカイ

8:00 土主頭の上 メシ

9:30 殺生小屋の上 休

10:10 槍の肩から頂上へ

11:45 槍から下山

12:30 赤沢岩小屋

4:00 横尾B.C. 到着

[感想] 槍頂上からのなかがめがよく 山菜取りは  
たのしかった。

記録 川原

6/4(日) ●

- 5:20 メシ(雑炊) 雨の中を撒収  
6:50 T.S. 祭  
7:40 新村 襦 お墓まいり。  
8:30 / 祭  
9:15 明神 メシ (=マック und ツツキ)  
9:25 / 祭  
10:05 バスターミル  
10:30 タクシ-乗車 一路 松平へ  
12:30 部屋 到着  
12:45 反省会  
13:15 解散

<MEMO>

雨のザーザー 降る中を、とにかく、最後と思い、トバシ  
た。途中、お墓まいりに行く。道をかける、残りさふんた  
で回ります。(しんみり)に黙とう。合席中一番 厳し  
くなる ひとときであった。上高地まで、また、どんどん  
とはたす。バックサゲで、運動靴 ほういた アニオン 液と  
いっはいすれちがう。その度に、ふくいくとした 香りに  
鼻をくすぐられた。むこうさんは、一様に 白い目で 井乙

いた。夕方の連チャンも我らの莫様の匂いに、~~窓を~~  
たまたま窓を開ける。我らは寒いから窓をゆるぎも  
要せず。こゝに、静かな戦いが起る。結局客の勝利。  
反省会では1年生は返事が無い。積極性に乏しい  
と指摘された。反省しよう。

13:15 おみや〜。や、と解散だき〜。こゝから  
徳本峠越えて下宿へ帰るき〜。

川原 記

5月29日

オリンピック雪上訓練

記録：山本

L下田、片山、中嶋、竹内、内川、加藤(信)

島谷、山田、山本(功)、吉野

12:30 樺尾BC発

樺川を渡り、2オリンピックハ、中程の所  
で雪上訓練(キックステップ、スト  
ップ、グリセード、コンテ、スタカ  
ット)後、グリセードで下降

2:00 BC着

<かんきー>

樺川を渡るのが非常に怖かった。

6月1日 % → 0

七木集積

L田中、山田、加藤(信)、土田(昭)

記録 加藤

8:25 廻沢発

10:25 北ホ小屋

北ホ沢を登り途中から車輪のこけらへ取付く。  
乗積に出るから、タイヤのこけらへ取付く。  
が、こけらへ取付く。急な雪面を登りま  
あとはしんどいだけだ。急な雪面を登りま  
るとポックリと北ホ小屋に出た。リュック  
をかぶった。1年庄のパーティを待つ。

6月1日 4峰松高ルート その1 記: 内川

10:30 取付 L竹ノ内. 内川  
 14:20 終了

取付まで片山-鳥谷パーティといっしょ。  
 共に取付く。終了後はいっしょに帰る。

1 pitch top 竹ノ内  
 2 " " 内川  
 3 " " 竹ノ内  
 4 " " 竹ノ内

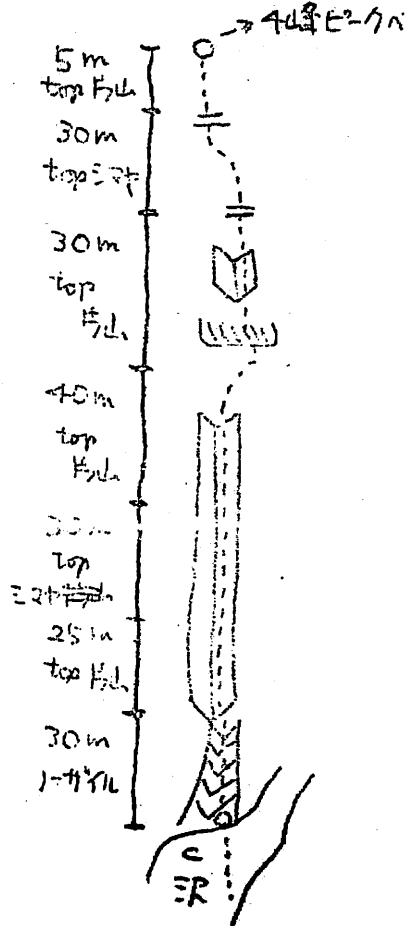
松高ルート その2

記: シマヤ

7:00 6・7のコル  
 11:00 取付  
 14:40 終了  
 15:40 3・4のコル  
 16:40 BC巻

<かんきょ>

最初5・6のコルに出る  
 予定だったのが6・7コ  
 ルに出るし、取付  
 まであらゆるしんどく  
 かった。  
 上の山頂がしんどい。  
 ハングの垂越を残置シ  
 ャリングが使えなかつた。  
 鳥谷から2P目のtopを  
 やすくよかった。全体  
 的に件々快適だったか  
 ら多分。もうか  
 った。



6月2日 ○ 3-4コルより前木・奥木 記：カト

L下田、山本(マカ)、加藤(お)

7:10 淵沢  
8:40 3-4コル  
9:30 3-4コル登  
10:45 前木  
12:05 取木  
12:45 穂高岳山荘  
13:00 淵沢

<かんえら>  
3-4コルで先行ローティを  
待つ。北尾根は岩波ロボ  
口でチェレクに気をつかう。  
取付いさるく20m程ポイント  
を使うが、あとはノーザイル。  
縦走路はとこりどこり雪が  
ついていていやだ。僕が途  
中スリッパした。雪止のコ  
ルからは一気にシリセード。

6月2日 ① 老高ルート その1 記：吉の

L田中、吉の

6:00 淵沢登  
6:45 5-6のコル  
3-4のコルよりD沢下降  
8:45 取付点着  
9:00 トハン肉焼  
9:35 終了  
セト・山田パーティを待つ  
11:10 4峰頂上を目指し、頂上で合流



凹角を22 終3点でビレー

右トトラバコ(凹角)より22 (7:45)

直上頂が雪で、ヒク下には小さい石のトラバコを  
こころみ、平らな。このとき凹角の頂は2-上か

スラブ状の古い岩の間をぬき、凹角をぬき  
>凹角をぬき (7:55)

土のへたりについた凹角を20m登り、フシの  
多い岩を登り、2ビレー (7:55)

<感想>

結局2P目でルートからはみ出したし  
八人を所にまよわせたことになったが、技術  
的には所々コンビアなどこそあった。

6月2日 松高ルート その2

記: 山田

L 松戸, 山田

6:00 涇沢  
9:10 取付  
10:50 終了

1 pitch top セト  
2 " " セト  
3 " " 山田  
4 " " セト

3P目 山田がルート  
をすちかみ、20mの  
P2P1で降りる。  
先かて3く、あまり面  
白くなかった。ハ  
ンク以外はフリー  
でいけたのでよか  
かった。

6月3日 松高ルート ①

記: 山本 (2人)

5:55 涇沢  
6:55 5.6コル  
5.6をこえて4.5のシル DIR下降 (積雪あり)  
8:30 取付  
10:25 終了  
11:05 4.6まで行く  
1時間休憩。山本は、中島は人ハラスを待つ  
12:40 涇沢  
カレット・B4・シリコトで1代でセクションアップと下る。

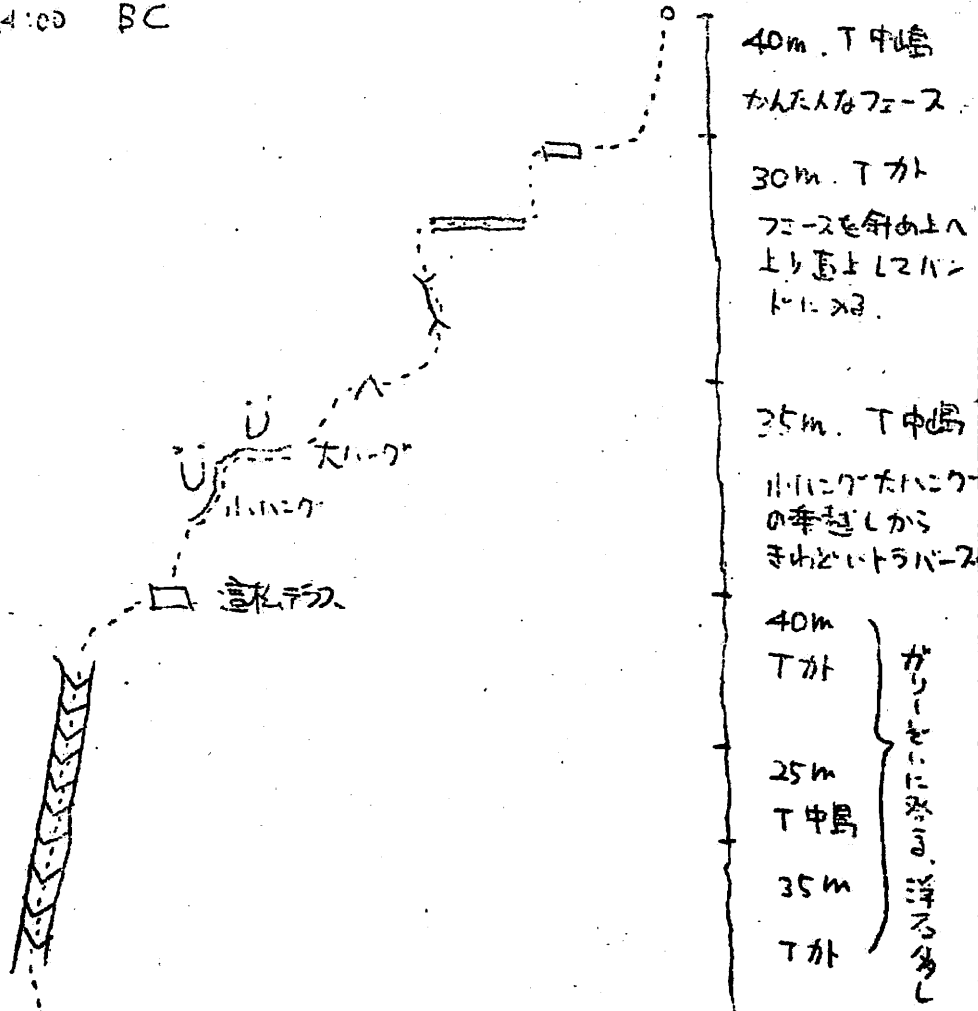
<感想>

まずDIR沢の下りがしんどかった。全体的に  
しんどかった。最終的にしんどかったというの  
は、慣れが人まうです。  
ハンクの積雪は、リングも下田さんがやる。  
ここは2P目: 1台使用。

6月3日 ○ 四路北条新村儿十 きの1. 記:カト

L中嶋. 加藤 (丸)

- 5:50 泊沢
- 6:55 5.6子儿
- 8:20 取付点
- 8:45 取付
- 11:10 終了
- 11:45 木崎E.ノ
- 12:20 C-7条
- 12:40 泊沢 ← な.ト.し.と.人.し.い!
- 13:10 泊沢発
- 14:00 BC





6月3日 北条新井ルート その2 記:山本(達)

9:00 取付 西川(08) 山本(達)  
11:30 終了  
12:00 4時

<かんそー>

恐かった。中嶋パーティの後で登ったので  
遅かった。私達だけだったら20分でしよ。5。  
ハニグは難かしくて手を使ったしよった。

6月3日 横尾本谷より橋 記:内川

L田中. おしの. 内川

4:15 BC 登  
5:30 横尾尾根直下カール  
6:10 横尾尾根  
7:00 中島  
8:15 橋ノ肩

後. 本隊と合流してBCへ.

<かんそー>

しんどかったけど. 快適だった。

# \* 新人合宿の反省感想

1年と

1年と

：体力不足と精神力の弱さを察じた。しかし雪上技術が身につくまでは登れそうもなかった。急な雪の斜面が登れるようになった。最後に槍ヶ岳に登れた。

井上：靴が新しくあまりはき慣らしていなかったため、靴ずれが出来てしまい、うまく歩けなくなった。槍に行った時と最終日上高地に着いた時は気分爽快だった。

小田：はじめの合宿でうまくできていたが、実際は非常に辛いものだった。体力不足のために自分のキスリングで徳本峠を越えられなかったことは残念だった。雪上訓練もおぼつかないものになってしまった。これから体力の増強をほかりたい。

川原：自分自身、合宿に対して積極性が欠けていたために、あまねがでて mapping や生活技術で FII 慢なところがあった。これから積極的に地域研究などして自分の山登りを進めたい。

加藤(恒)：体力不足を感じた。山に対する不安感が増した。また、この山岳会は以外と封建的であると感じた。

石渡：体力、精神力に欠けていた。このために皆に迷惑を  
かけてしまった。生活面、行動面に積極性を  
付けていて先輩に叱られることが多かった。  
クマケーキーは少々まいった。

中村：予備知識が欠けていた。B.C.での生活技術が  
なかった。それに対する積極性に欠けていた。

吉岡：事前研究が足りなかった。また天気図もよく書けな  
かっただけで、雪上訓練がうまくいかなかった。  
また個装の管理がずさんであった。

24

加藤(雄)：二年生としていろいろな所へ行けて登山内容は  
満足のものだった。しかし疲労が重なってインテ  
ンションが保つことができなくて残念だった。

島谷：合宿前の新人指導にあたりがあった。新人指  
導のあつかいをも痛感した。松高ルート登攀できたし、  
全体的に楽しい山行だった。

山本：自分がひざを痛めたために、そのことに長が散って新  
人指導がうまくできなかった。もっとすみずみまで指  
導するべきだった。自分としてはもっと岩稜歩道をやり  
たかった。

83年

竹内：装備係として、ブスマテントなど日ごとの装備点検の  
必要を感じた。また計画書も不完全だった。  
自分としては、リーダーとしてリーダー全体を  
把握しきれなかったし緊張感も弱かったように思う。

注：この文面は各々の反省文をからせつつピックアップ  
して、その言い分とするところを適宜にまとめた  
ものです(記 山本)

## 《各係からの反省》

### \* 記録係から

まず\*1に計画書作りにおける不手際があげられる。記録係が松本と長野に分かれていたために連絡が十分に行なわれなかった。また合宿中において、1年生の中に必ずみんな記録が見立、たか、と注意するべきだった。  
(内川)

### 装備係から

事前の装備準備をもっと入念にするべきだった。テントのポールがあわないうけまいった。くっかわるものが多く釘金がつりたくなくて  
はった。  
(竹、内、山本雅)

### \* 氣象係から

今年の新人合宿は天候不順で天候のはおかしかった。また1年生の中にもまったく天気図の書けないものが見立、た。夏合宿までには、完全に書けるようにしてもらいたい。(山田)

\* 曾会計・渉外係から

来月事前の予算をしっかりとすべきだった。

(島谷)

\* 医務課・係から

雨がふった時に、カービ等がぬれこ

つかえなくなってしまう。

使用したるは、電が落ちるビニールを

入れること。それと、我ががわで

ビル内に点検をすべきであった。

(内川)

\* ESSEN 係から

新しいメニューを考えたつもりだが、

作り方にまだ工夫が足りなかった。

それから、肉等のチェックをもっと

充分に行なうべきであった。(田中)